

今月の一言 買取価格が大幅に引き上げられ、PV（太陽光発電）普及は第2段階に入りました。家庭の屋根主流のわが国でも、今後は欧州のようなメガ規模が期待されます。強い土地制約を考えると、デッド・スペースの有効活用がポイントとなります。（吉田康之）

NSRI都市・環境フォーラム特別講演

東京オリンピックの年に来日して以来40年の長きにわたり日本の政財界との交流を通じて「日本研究」にご尽力されて来られたジェラルド・L・カーティス教授は、今年7月30日開催のNSRI都市・環境フォーラムにて「日本の長年の社会の変動がようやく日本の政治に大きな影響を与える時を迎えた」という視座からの「オバマ大統領のアメリカと日米関係」と題する講演をされました（参加者総数 約500名）。以下にその講演の梗概をご紹介します。（與謝野久）



「オバマ大統領のアメリカと日米関係」

講師：米コロンビア大学教授

ジェラルド・L・カーティス氏



なぜ今、政権交代が起こりうるのか？

日本の現内閣のリーダーの支持率が下がって来たから政権交代が起こり得る、という今の日本のメディアの報道は全く説明になってはいない。端的に言って、日本では地域社会の共同体意識が薄れインターネットの普及で政治に対する考えを「自分で決める」志向になったため、これまでの自民党の集票システムが崩れたのと、政府と与党との非公式な調整メカニズムが機能しなくなって来たこと等があり、いよいよ日本は政治的には普通の民主国になりつつある、と言うことである。この意味で政権交代が云々されることは普通のことなのであり、社会変動に遅れた政治がこれに追いつくために、今大きく変わろうとしている。

「政権交代」「政権選択」などは特段の異様な政治現象ではなく、要は「この国のために何をしなければならないか」について国民も政治家も官僚も真剣に議論せねばならない時を迎えている。日本には1920年代の大正デモクラシーの時の党人派政治家が活躍した貴重な歴史基盤がある。この国の将来を考えるにあたって日本の国民としてもっと自信を持って臨んで欲しい。

日米の政治・官僚構造の差異と進むべき道筋

日本の一部報道では「脱官僚」などの語が見られるが、そんなことはありえない。米国は官僚主導ではなく政治主導である、と若い政治家は思い込んでいるようだが、米国には議員スタッフとしての官僚と政府系の官僚との二つがあり、いずれも強く機能している。ただ、「政治家が国のビジョンと道筋を示し、官僚がこれらを実行する」という機能においてであり、かつての日本もこの構図であったのが、今の日本はこの逆である。今、この本来の構図に戻す必要があるが、政治家と官僚との新たな協力体制が構築できれば、大正以来の革命的な変化になる。

ただ、現在の官僚が「今までどおりじゃないとだめだ」という態度をとるとしたら、それは大変な衝突になる。所詮、民主

政治というものは「対決」と「妥協」でありかつその両方を必要とする。政治家は、例え票数が減ろうが「国の将来のためにはこうすべき」と判断したなら正直に国民・官僚に訴えるべきで、国民と官僚を説得せねばならない。そうした緊張感あるダイナミズムあふれる環境で応酬しあうという、対決し妥協し新しい競争力のある政治を創り具体性のある将来ビジョンを総力で描くことこそが、今の日本の政治家と官僚とに求められている最大の課題である。

また、米国では大統領制のもとでの地方分権制と道州制他を敷いているが、日本は議院内閣制のもとにあり、見習うべきところもあるものの絶対にまねすべきではないところも一杯ある。鵜呑みは間違っている。日本はかつての好ましい民主政治の芽を再認識して日本なりのシステムを考えれば良いのである。

これを機にチェンジできればこの国の将来は明るい

オバマ大統領は、米国社会での身分、貧富、人種の数多の差異に対して「哲学、理念、勇気」をフル動員し、この国にとって必要なことを自らの言葉で正直に話している。この「国民を説得する努力」、この力が政治家にないとうにもならない。アメリカ国民に対して、医療制度改革をはじめ社会制度の骨格の抜本的な改革へ向けて国民を説得しようとしているそのダイナミックな姿は素晴らしい。

一方、日本の政治リーダーは、今のところ国民に対しての説得努力が十分だとは思わない。国民に対して「この国のために何ができるか」、同盟国のアメリカに対しても「どういうふうに関心を持って密接にすべきか」などについての新しい政治の枠組み表明とともにダイナミズムの議論を総力的に尽くした上でないと、アジアや日本には関心が薄く中国に関心を持つオバマ大統領は大して期待を向けないだろう。いまや米国は日米よりも米中に関心が高く、日本はこの点を深く認識して、日米・日中の関係も考え合わせねばならない。

いろいろあるが、この機に日本の政治が少しでもよくなれば、日本という国はものすごく力のある国なので将来は明るくなる。チェンジがあって、それにより日本の政治が良くなることを期待して今度の選挙に高い関心を抱いている。

定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまで。
(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

編集後記

富士登山者が年々増加しているようです。山頂に着いた時の達成感、頂上を目指す道のりもまた楽しいものです。日々の生活では忘れがちですが、目標や意識を持つことが重要だと再認識しました。(Y)